

わがまちみらいマネジメント講座

ファシリテーター養成① 実施報告書

- 1 日 時 平成31年1月20日（日）10時～17時
- 2 会 場 長崎市民会館6階 第9・10会議室（長崎市魚の町5番1号）
- 3 講 師 山口 覚 氏
（津屋崎ブランチLLP 代表）
- 4 開催目的 地域活動のリーダー等を対象として、地域活動における運営能力の向上や地域活性化に効果的な手法の習得を目指す
- 5 テ ー マ ファシリテーター養成（3回連続シリーズ）
話し合いの場での参加者の意見の引き出し方などを学びます
- 6 参加者 12名
- 7 実施内容

○開会

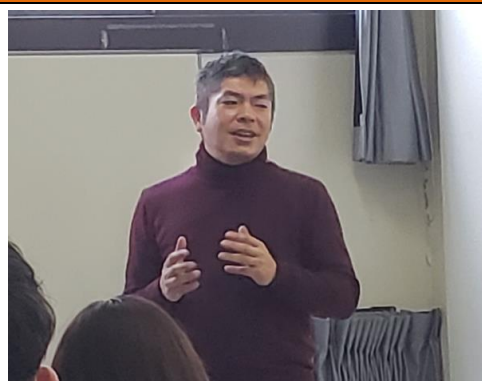
ファシリテーター養成①

「対話の重要性を座学で学ぶ」



○講師紹介

津屋崎ブランチLLP
代表 山口 覚さん



○自己紹介（チェックイン）

年齢や所属はバラバラに、3～4人程度に分かれて、自己紹介をしました。

➤チェックイン

会議の前に少人数で話す時間を取ることで、参加者の緊張感を和らげます



○対話とは

・今、なぜ対話は必要か？
・「討論」と「対話」の違い について
山口さんのお話を聞き、参加者同士でどう感じたかを話し合いました。

➤対話とは、

- ・自分と考え方が違う人の話も聞く
- ・「なぜ考えが違うのか」を探求する
- ・いろんな人の話を混ぜ合わせることで、新しい意見が生まれる

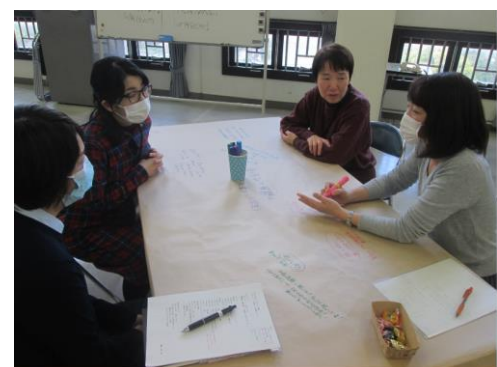


○対話の実践

話し合い（対話）の心得を学んだ後、学んだことを意識しつつ、実際に「小学生の夏休みの宿題は必要か」というテーマで話し合いを行いました。

➤話し合い（対話）の心得

- ・耳を澄ませて聴く
- ・否定も断定しない
- ・答えは1つと思わない
- ・沈黙を歓迎する
- ・アイデアをつなげる



○対話の事例紹介

➤ぷらっとカフェ

2か月に1回、地域住民が集まり、まちづくりについて話をする

➤町医者の学校

医者と地域の住民と一緒に対話を学ぶ

➤トークフォークダンス

子どもと大人が本音で語り合う場



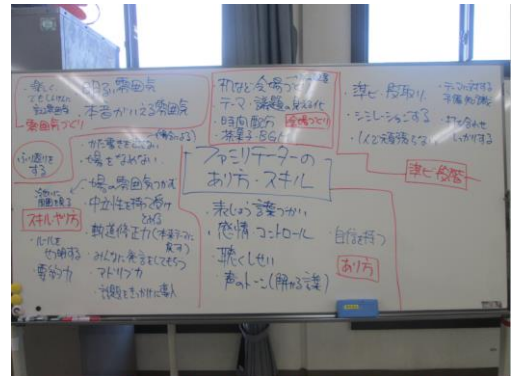
○ファシリテーターとは

「ファシリテーターとして大切なこと」とは何か、これまでの講座の内容を踏まえ、グループで話し合いました。

➤出てきた意見

- ・意見を言いやすい雰囲気づくり
- ・中立性をもって受け止める
- ・冷静に周囲を見る
- ・アドリブ力
- ・軌道修正力
- ・1人で頑張りすぎない
- ・明るい表情や言葉遣い

など



○振り返り

「今日一日を振り返ってどうだったか」
1人ずつ発表しました。

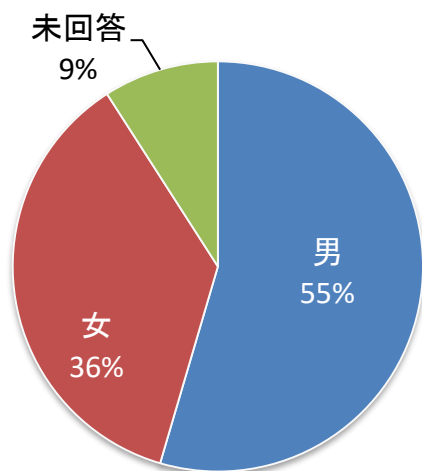
「いろんな話し合いの手法があることを知った」「話し合いの時の心構えなど、すぐにでも実践していきたい」などの声がありました。



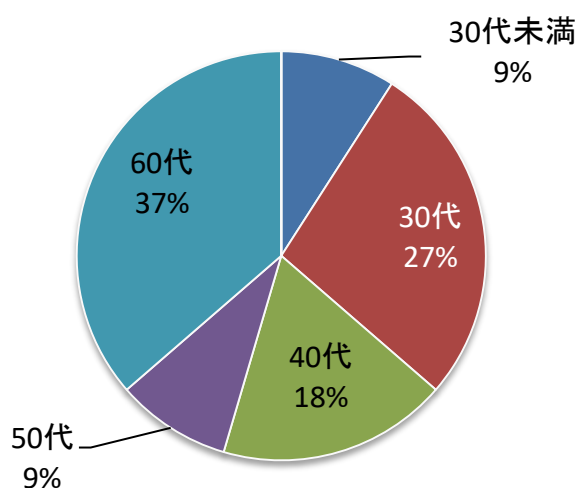
8 アンケート結果

別紙「アンケート結果」参照

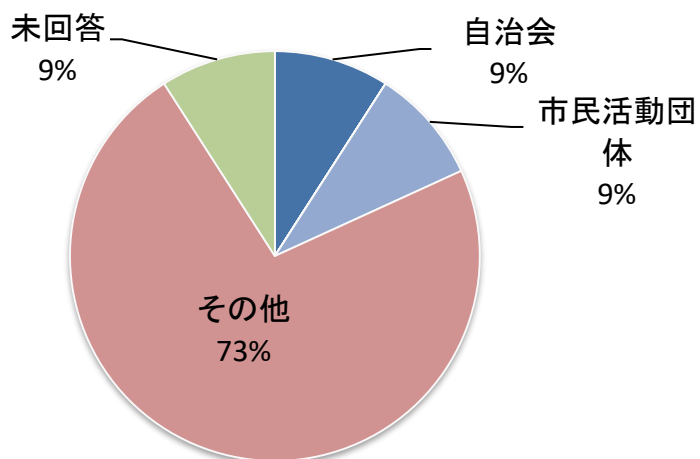
参加者 男女比率



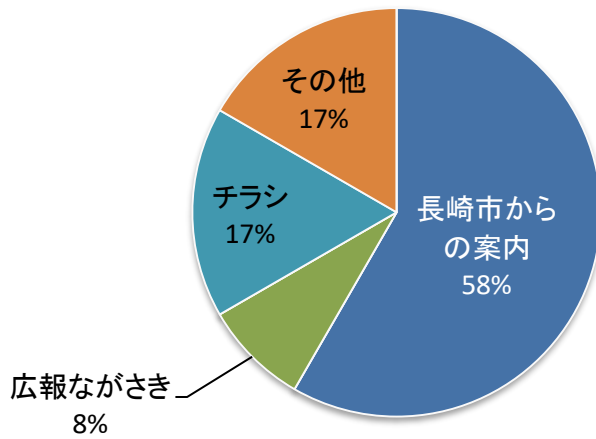
参加者 年代比率



参加者 団体比率

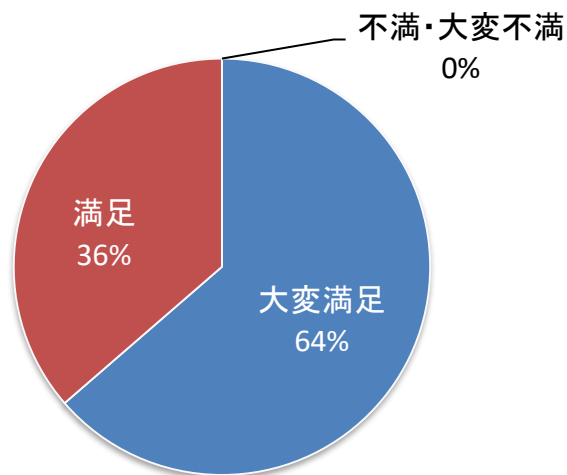


1 本日はどのようなきっかけでご来場されましたか？（複数可）

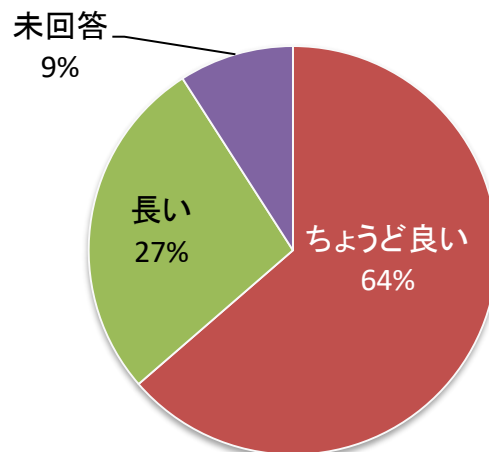


2 本日の講座の評価について、当てはまるものを選んでください。

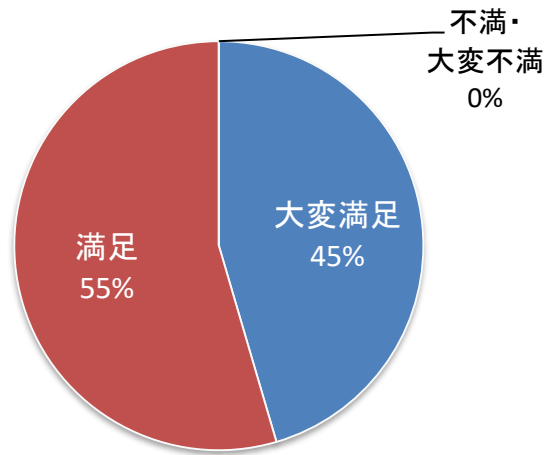
(1) 講座内容について



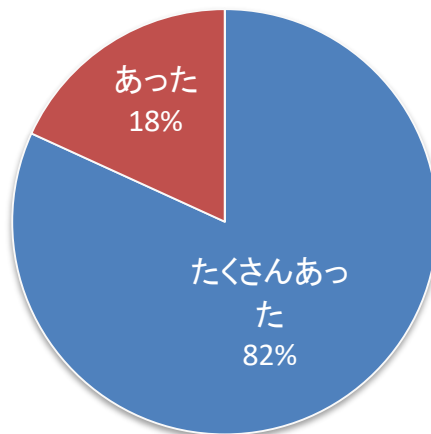
(2) 時間配分について



(3) 全体的に



3 新たな発見や活動の参考になることはありましたか？



3 新たな発見や活動の参考になったこと（自由記述）

内容
ファシリテートするには、多様な手法やあり方があり、その手法を1つ1つ経験して学んで実践することが大切であることを学びました。これまではファシリテートに対してばく然としたイメージを持っていたので自分自身の中で少しふに落とすことができたと思います
ファシリテーターのあり方、トーク・フォークダンス等々使えるスキルが沢山あることが分かった
<ul style="list-style-type: none"> ・対話の重要性、ディベートとの違い ・ファシリテーションを行う上での心かまえ ・トーク・フォークダンス、100社ミーティング等の手法 ・人の話を聞いていない
<ul style="list-style-type: none"> ・ワークショップのあり方 ・コミュニティの取り方 ・進行（会議等） 常に皆様のところ、相手の身になって進行して行かなくてはと思いました。これからの2月3月4月は会議が多くあります。少しでも今日の学びを入れたいと思いました
普段は同じ職種や職場の人と話をしている視野が狭くなっていた。他の参加者の意見や話をきいて、とても視野が広がり、また頭（考え）が柔軟になったように思う。
様々な方と話し合う、対話することで、いろいろな考えがあることを知り、ワールドカフェで移動することで、より多くのことを知り考えが深まった
話をすること以外での取り組み方（心づかい）に関してとても参考になり、環境づくりにも目を向けなければ、良い対話は生まれないと感じました 机上のクラフトペーパーもそうですが、早速、実践していきます
話し合いの時の心構えや言葉のえらび方など大変参考になりました。仕事で会議をする時などに対話の考え方などを活かして進行していきたいと思いました。
対話の重要性やファシリテーターとしての心構えを学ぶことができた。1つのテーブルだけでなく、他のテーブルを回ることで意見の幅が広がるのがわかった
話し合いの機会が多く、ファシリテーションの役割を持つことはありましたが、今回のワークを通して自分が中立で聞いているつもりでも実は、中立に聴くことが出来ていなかったと気づきにつながりました。対話することで自分の視野や見え方がわかり、おもしろくなってくるのが発見になりました
<ul style="list-style-type: none"> ・聴くことの大切さを再確認しました ・ファシリテーターとして己を知ることも必要であり、このことは他にも通じると思った ・ファシリテーターとしてアドリブ力をみがく

4 その他、ご意見・ご要望、感想など（自由記述）

内容
とても有意義でした。参加させて頂きありがとうございました
地域コミュニティ作りに興味を持ちました。分かりやすく、実践的な講義で大変勉強になりました
時間が長いと思いましたが、この内容だと必要な時間だと思えました。勉強になりました。今日の学びを活用していきたいと思えます。
スライドの部分で、実際の動画があればもっとよいなあと感じました
ありがとうございました
明日からできることを一つずつやっていきたい